

2022年度
(令和4年度)
事業報告書

公益財団法人 相模メモリアルパーク

I 事業運営概況

公益財団法人設立の趣旨に則り、霊園事業を運営する法人として内部統制を整備し、健全で安定した財団運営、コンプライアンスを重視した業務執行と墓地管理事業の円滑な推進に努めるとともに、県民の皆様に低廉で良質な墓地の提供を継続的に行い、県民の墓地需要に応え、もって地域の福祉の向上に寄与すべく役職員一同取り組んだ。

また、社会状況の変化を踏まえ、防犯対策、省エネ対策、環境への配慮等新たな課題に対応するとともに、利用者サービスの充実を図った。

とりわけ、新型コロナウイルス感染症の拡大防止を図るべく、職員への感染症対策の徹底とお客様が安心してご利用いただける環境整備に努めた。

さらに、ハラスメントのない「風通しの良い職場づくり」にも精力的に取り組んだ。

今後も、社会から、とりわけ霊園が存在する地域から信頼され、また職員が働きやすい、やりがいのある職場環境を醸成できるよう努めていく。

2022年度(令和4年度)事業計画書

III 令和4年度事業計画の策定方針(新規・重点事業)

- 霊園を取り巻く環境は厳しいものがあるが、そうした中であっても、利用者へのサービス水準を維持・向上させ、「四季折々の花に囲まれた」「いつ来ても綺麗」な霊園環境を維持しながら、利用者の満足度を上げ、時代や社会、地域の要請に応えるとともに、積極的な広報活動を通じて認知度アップに向けて取り組み、収入を確保し健全な経営を維持していく必要がある。
- また、公益財団法人として国や県、民間企業が取り組んでいるSDGs、カーボンニュートラルの実現も意識し、更には今後も地域の中で事業活動を継続していくため地域連携にも配慮し、事業展開を図ることとする。
- 今後取り組んでいく経営改善に向けた取り組みとして、
 - 1 収入の確保に向けて
 - 2 利用者サービスの向上に向けて
 - 3 霊園環境の整備に向けて
 - 4 サステナビリティ(持続可能性)に向けての4本柱を掲げ、社会や時代の要請を踏まえ、魅力あふれる霊園として、利用者サービスの向上、環境整備等に重点的に取り組んでいく。

1 収入の確保に向けて

(1)「期限付き墳墓」の販売

2021年10月に販売を開始した「期限付き墳墓」は、新規での申し込みはないものの、永代使用墓地からの切り替えは、2021年度は2件、2022年度は7件あった。

(2)委託事業（墓参代行、墓所内植木剪定）の直営化

外部機関に委託していた「墓参代行、墓所内植木剪定」を

- ・墓参代行については、2022年3月から直営化

2022年3月実績 19件 268,700円

2022年度実績 88件 1,231,300円

- ・墓所内植木剪定については、2022年4月から直営化

2022年度実績 13件 130,900円

(3)返還墓地の再販

返還墓地の再販に向けた検討

- ・返還墓地の位置を区画表にプロット、納骨歴等を基に再販方法を検討
- ・再販方法の具体化に向けて、石材センターと調整

(検討・調整結果)

- ・グリーン墓地、芝生墓地の返還墓地については、ある程度再販が見込めることから、普通墓地（和墓地）に絞って進める
- ・普通墓地の再販に当たって、墓地使用の割引（最大30%）、石材センターの協力を得ながら、墳墓と合わせての再販（建売）を2023年度施行する

(4)心の響への広告掲載による手数料収入

2021年秋号の心の響の裏表紙に、地元の有名店の広告を掲載し、手数料を徴収

2021年秋 卵菓屋 2022年春 土門 2022年秋 大矢孝酒造

(5)霊園管理料の徴収率向上

- ・長期滞納者の管理料徴収が住所の確認ができないことなどの理由から進まない現状を踏まえ、一定年数以上の滞納者からの未収金を会計上「貸倒損失」に計上する方向で検討
- ・従前の徴収率表記では、2022年度は徴収率88.5%だが、20年以上の滞納者からの未収金を貸倒損失に計上すると、徴収率は92.1%になり、10年以上の場合は96.4%になる
- ・引き続き、滞納者からの管理料徴収に向け、督促強化月間を設定し、受付職員全員で督促を行い、2022年度は、管理料滞納6ヶ月～4年以下の対象者299件に督促し、89件から入金があった

・また、郵便振替から口座振替への切替促進に努めており、口座振替の利用者は、2017年度末の60.3%から2022年度末には74.9%まで伸びた

2 利用者サービスの向上に向けて

(1)EV自動車の購入

日産サクラ（EV軽自動車） 2022年8月8日納車

神奈川県EV導入費補助金(20万円)、クリーンエネルギー自動車導入促進補助金(55万円)を活用

心の響 2022年秋号に、園内送迎車として活用を促進するための記事を掲載し、園内送迎依頼件数が2021年度は、15件だったが、2022年度は47件あった。

(2)EV充放電機器の設置

EV自動車の蓄電池から建物の中に電気を送るためのEV充放電機器については、在庫不足のため2022年度は設置できなかったが、2023年度に神奈川県EV導入費補助金を活用し、設置予定

※日産サクラを充電するためのEV充電機器を2022年8月17日に設置済

(3)SECOMの導入による警備体制の強化

2022年1月に、管理棟にSECOMを導入、稼働開始

(4)防犯カメラの設置

2022年4月に管理棟前駐車場及び園内を監視するため、防犯カメラを2台設置

(5)洋式トイレの便座をシャワートイレに交換

全ての洋式便座（16台）をシャワートイレに交換するとともに、男子トイレを含む、全ての個室(18室)にサニタリーボックス（汚物入れ）を配置

(6)管理棟受付入口扉の自動化

車椅子の通行等を勘案し、2022年度での改修は取りやめ、2023年度に施工方法等を再検討

(7)納骨堂の設置に向けた調査設計

・建設予定地（管理棟西側トイレ裏の空き地）での建築は、都市計画法上厳しいことから建設を断念したが、基本設計等調査設計費(6,600千円)は執行済み

・納骨堂については、管理棟内の倉庫を納骨堂<預骨室>に転用することとし、墓地等経営許可申請書を保健福祉事務所に提出し、この許可に当たる墓地等経営許可書が2023年4月21日付けで交付された

・今後、預骨室に納骨壇を設置し、保健福祉事務所に工事完了届を提出、保健福祉事務所担当者による検査後、工事完了検査済証の交付を受け、7月上旬に使用開始予定

⑧(8)色褪せた路上案内看板の補修

高峰小学校東側交差点、愛川聖苑入口、梅沢交差点の3か所の路上案内看板が日光、経年劣化で色褪せたため、補修

⑨(9)小田急グループ共済組合との割引契約（2022年4月時点：76社、38,900名）

2022年9月1日契約締結 墓地使用料 5% 墓石代金 10%

⑩(10)管理棟、斎場前の案内看板の改修

雨風に晒され、劣化した案内看板を見やすい表示に改修するとともに、バリアフリートイレの案内看板、園内送迎車の駐車看板を新設

3 霊園環境の整備に向けて

(1)四季折々に開花する花木の植樹

園内の植樹の現況を把握するため、現地をつぶさに確認し、園内鳥瞰図に落とし込んだ。今後、専門業者に植樹計画の策定を委託し、四季折々に花木が開花するような、具体の植樹について検討していく。

(2)長期修繕計画の確実な実施

長期修繕計画に沿った資金積立については、緊急度等を勘案した積み立てを実施

(単位：円)

	計 画	決 算
外 構 1	33,110,000	33,110,000
外 構 2	31,752,000	20,000,000
外 構 3	26,952,000	0
外 構 4	38,855,000	0
外 構 5	12,450,000	0
計	143,119,000	53,110,000

(3)無縁墳墓の整理

2022年度は事業の進展は図れなかったが、無縁遺骨を保管する「預骨室」の使用開始(2023年7月予定)に合わせて、無縁墳墓の整理を進めていく

(4)返還墓地の再販に向けた整備

2022年度は事業の進展は図れなかったが、返還墓地の再販に向けた取組みを踏まえ、対応していく

4 サステナビリティ（持続可能性）に向けて

(1)EV自動車を非常時の発電機として活用

※EV充電機器については、2022年8月17日に設置したが、充放電機器については、在庫不足のため2022年度は設置できなかった

2023年度に神奈川県EV導入費補助金を活用し、設置予定

(2)照明器具のLEDへの変更

「神奈川県中小規模事業者等省エネルギー設備導入支援補助金」を活用し、管理棟、休憩棟ほか霊園内の全ての照明器具を消費電力が少なく、環境に優しいLEDに変更

(3)県立愛川高等学校生徒による花植え 2022年度5回

2022年5月6日、7月7日、10月21日、12月8日、2023年3月8日

(4)県立中央農業高等学校生徒が栽培した花を購入

上記愛川高校の生徒が植える花は、県立中央農業高校の生徒が育てた花を購入

⑤(5)「TEPCO省エネプログラム2022」節電プラン（エナジーダイエットプラン）に参加

参加特典：現金20万円付与、前年同月と比較した節電量で電気料金の割引

⑤(6)災害救援自動販売機の設置

災害救援自動販売機を2022年4月22日、休憩棟前に設置

5 その他

(1)ハラスメント対策

- ・外部機関に、2022年5月23日から、「ハラスメント相談室」を委託
- ・2022年8月に、役員、管理職を対象に、愛甲商工会等の補助金を活用し、外部講師によるハラスメント研修会を開催（無料）

講師：フェリタス社会保険労務士法人 石川弘子特定社会保険労務士

(2)アルコールチェッカーによる始業前検査

日常業務で自動車を運転する屋外作業員、納骨担当職員は、始業前にアルコールチェックを実施

(3)パート職員にも夏季休暇を付与

(4)タイムカードの導入(出勤簿の廃止)

(5) 新型コロナウイルス感染症への対応

①職員への徹底

- ・ワクチンを接種しやすい環境の整備（接種日、翌日を特別休暇）
- ・役職員の接種状況を把握
- ・出勤前（自宅）・出勤時の検温等による健康状態の確認
- ・手指消毒の徹底
- ・接客時、執務中のマスクの着用
- ・昼食時の個別摂食
- ・施設内の換気励行（定期的な窓や扉の開閉を行うとともに、加湿器を設置）
- ・始業前のアルコールチェックにおけるアルコールチェッカーの共同使用をやめ、各個人に配付

②施設利用者に安心して利用していただくための方策

- ・管理棟受付、斎場ホール及び休憩棟の入り口に検温消毒器設置
- ・斎場2室の同時使用を控え、交互使用し、使用後のアルコール消毒、換気を徹底
- ・斎場に加湿器及びサーキュレーターを設置
- ・斎場の換気扇の常時稼働
- ・受付窓口にアクリル板を設置
- ・受付窓口への少人数での入室と電話での法要予約を呼びかけ
- ・受付窓口カウンターのアアルコール消毒の徹底
- ・会席室にアクリル板を設置
- ・トイレの個室に便座クリーナー及び手洗い場に消毒剤の設置
- ・斎場、会席室の使用毎のアアルコール消毒
- ・休憩棟の休憩スペースでの食事を禁止
- ・無料送迎バスの乗車定員を半減

II 相模メモリアルパークにおける事業報告

1 墓地提供事業

(1) 墓地の種類、提供実績

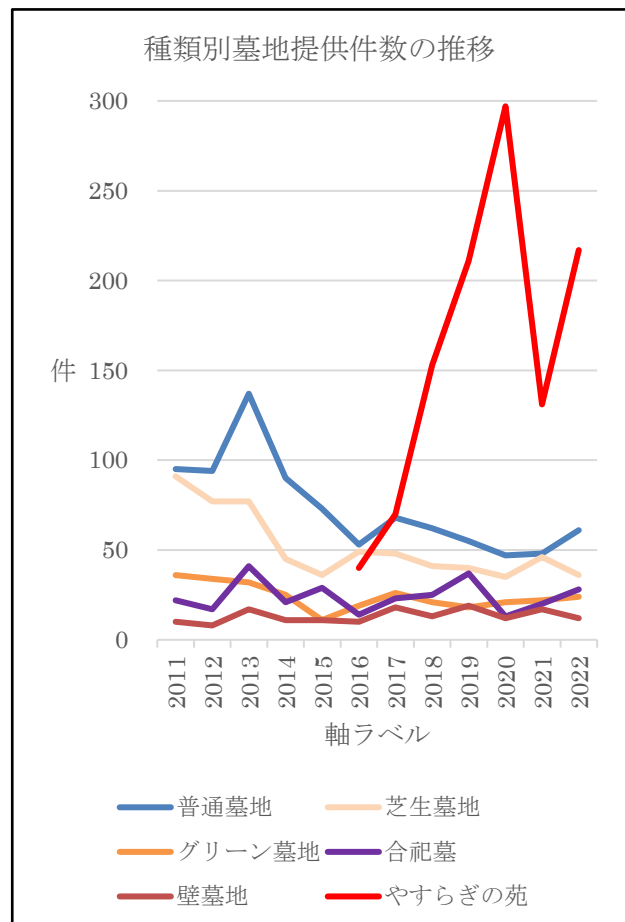
2022 年度の墓地提供の実績は、提供面積 326.60 m²、121 区画で、対前年度比面積は 106.6%、区画数では 104.3%であった。

墓地の種類	2022年度実績		2021年度実績	
	提供面積	提供区画	提供面積	提供区画
普通墓地	139.00 m ²	61 区画	95.50 m ²	48 区画
芝生墓地	100.00 m ²	36 区画	132.40 m ²	46 区画
グリーン墓地	87.60 m ²	24 区画	78.40 m ²	22 区画
合計	326.60 m ²	121 区画	306.30 m ²	116 区画
合 祀 墓	—	28 件	—	20 件
壁 墓 地	—	12 区画	—	17 区画
やすらぎの苑	—	217 件	—	131 件

最近 10 年間の墓地販売状況は、少子化による承継者不在や葬送に対する考え方の多様化などにより、永代使用墓（以下「普通墓」という）の販売件数は減少傾向にあるが、2021 年度、2022 年度の 2 か年は若干増加している。

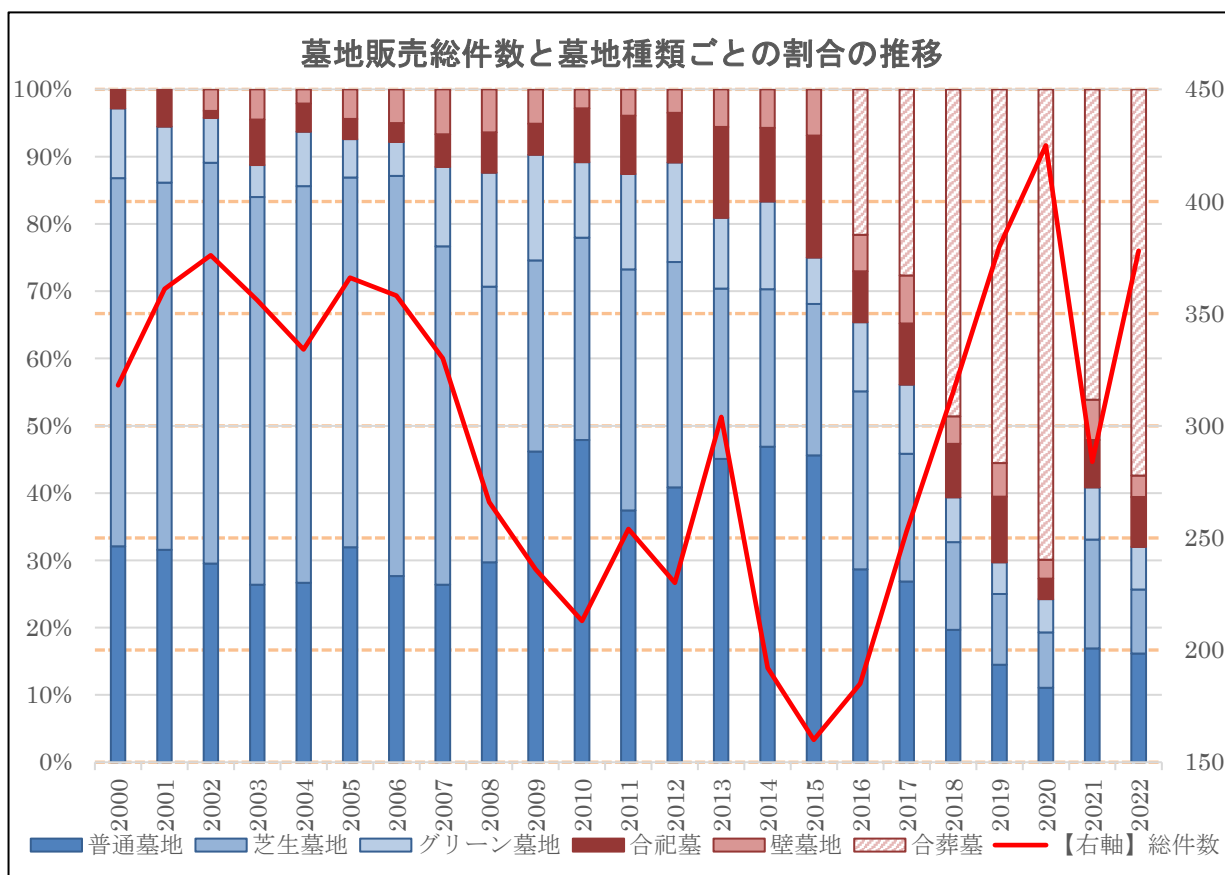
一方、近年、永代供養墓の需要は高まっており、そうした傾向は今後も続くものと思われる。

2021 年 10 月からは、承継者不在等の理由により、普通墓の購入を躊躇されている層をターゲットに段階を経て永代供養墓に移行する「期限付き墳墓」を新たに販売開始したところ、新規での申し込みはないものの、永代使用墓地からの切り替えは、2021 年度は 2 件、2022 年度は 7



件の契約があった。

なお、増加傾向にある「やすらぎの苑」販売件数が 2021 年度に大幅に減少した要因としては、園内での墓じまいに伴う「やすらぎの苑」への改葬の場合の管理委託料を 2021 年 4 月に引上げることを事前に周知したことによる駆け込み需要による反動で、2022 年度は 2021 年度比で 165.6%まで回復している。



墓地販売総件数と墓地種類ごとの割合の推移をみると、墓地販売総件数は、2002 年度をピークに低落傾向が始まり、2011 年度から 2013 年度は一旦歯止めがかかったが、これは 2014 年度からの消費税率引き上げ前の駆け込み需要という要因等によるものと考えられる。

2014 年度以降、ふたたび低落傾向が続いたが、2016 年度から増加傾向に転じた。

この増加傾向の背景としては、少子化による承継者不在や葬送に対する考え方の多化などを踏まえ、2016 年度から提供を開始した「やすらぎの苑」（合葬墓）の販売件数が著しく増加したことが主要因である。

こうした永代供養墓の増加傾向は、経営面からみると、将来の管理料収入が見込めないことから、将来的に厳しい経営状況を招きかねない。

一方、墓じまいに伴う返還墓地は年々増加しており、2018年度に墓地の返還面積が新規提供面積を上回り、翌年の2019年度には件数も逆転して以来、返還墓地は年々増加傾向にある。

(2) 霊園面積の概況 (2023年3月31日現在)

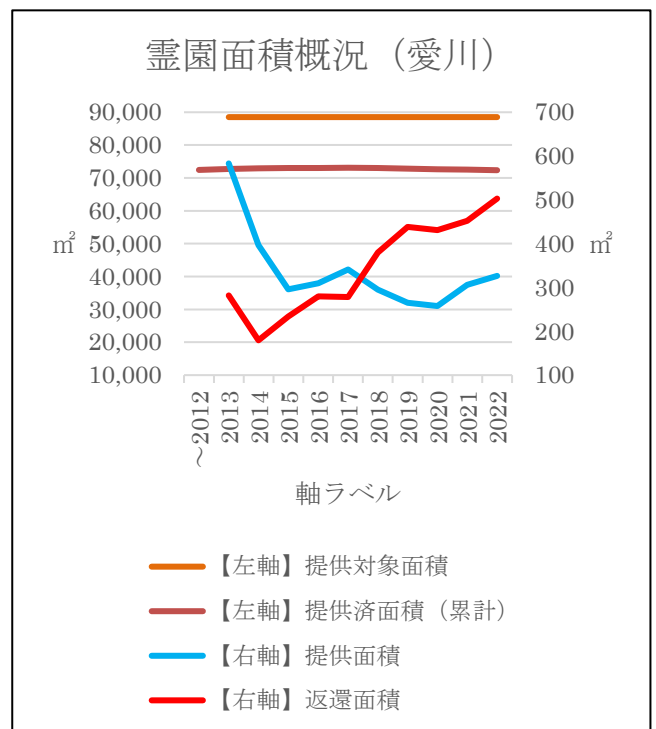
霊園全体面積	192,366,70 m ²		
提供対象総墓地面積	88,525.06 m ² (100.0%)	総区画数	26,736 区画 (100.0%)
提供済墓地面積	72,536.90 m ² (81.7%)	提供済区画数	21,262 区画 (79.5%)
未提供墓地面積	16,168.16 m ² (18.3%)	未提供区画数	5,474 区画 (20.5%)

※面積については、永代供養墓を除いた実測面積である。

現在の提供対象総墓地面積（区画数）となった2013年度からの霊園面積の推移をみると、提供済面積は72,000 m²から73,000 m²前後で推移していて大きな変化はないものの、年度毎に見ると、2018年度に返還面積が提供面積を上回り、その傾向は継続している。なお、件数で逆転が生じたのは、2019年度である。

返還面積は2014年度以降右肩上がりに増加してきており、2022年度も引き続き増加傾向にある。

今後は、返還墓地の再利用促進が重点課題であると認識している。



(3) 霊園環境整備

墓地の保全管理については、霊園全体の環境保全を重視し、花と緑が織りなす公園墓地として、グリーン墓域・芝生型墓域・和型墓域のそれぞれの特性を生かして、常に墓域の清潔感が保たれるよう霊園の管理に努めるとともに、霊園設備の適時なメンテナンスにも鋭意努めた。

2022年度新規事業として計画していた「四季折々に開花する花木の植樹」については、今後、専門業者に植樹計画の策定を委託し、具体的植樹について検討していく。

また、地域との連携事業の一環として、県立愛川高校の生徒に、県立中央農業高校の生徒が育てた花を定植する取組みを昨年度から開始したところだが、2023 年度も引き続き連携していく。

(4)霊園管理料徴収事務

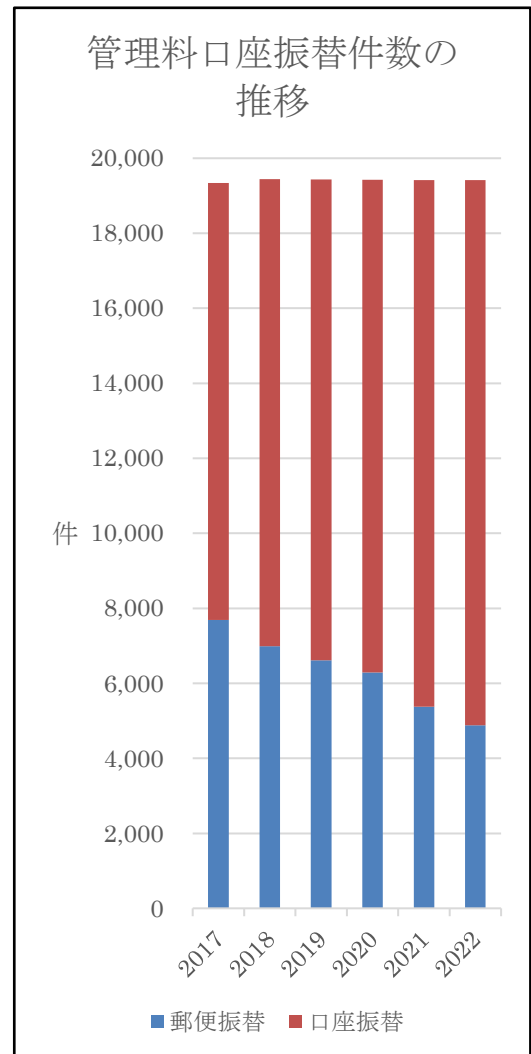
霊園管理料は、霊園の健全な運営と霊園の永続性を支える大事な資金であることから、滞納者に対して、まずは電話での催促、また、転居不明・滞納3年以上の墓地に立札を立てるなどの対応に努めた。

(立札：2022年8月 転居不明 55件、滞納3年以上 200件→2023年5月 転居不明 33件、滞納3年以上 187件)

また、利用者の手数料及び霊園職員の事務の負担軽減の観点から、口座からの自動引き落としへの切替えについて、霊園管理料請求の都度お願いしており、現在、口座振替の利用者は14,534件(74.9%)で、2017年度比では、件数で2,887件(約24.8%)増加している。

なお、2022年度の霊園管理料の納入率については、請求額144,152,570円に対して納入金額は127,543,818円で、納入率は88.5%であった。

キャッシュレス化という時代の要請に応えるとともに利用者サービスの充実の観点からも、引き続き口座振替への切替えをお願いするとともに、滞納者に対しての督促処理により、納入率の向上に努める。



(5)預り保証金返済事務

預り保証金は、制度解消に取り組み始めた1999年当初、14,030件、21億4,599万余円あったが、24年間取り組んだ結果、2023年3月31日時点で、残り190件、31,945,000円まで減少した。

なお、2022年度は、6件、1,390,000円の処理を行った。今後とも、法事等の機会を捉えて、引き続き対象者に理解を得るよう働きかけていく。

2 墓地附帯施設等の管理運営事業

(1)納骨の受入れ

納骨は、ご家族のお手許から離れ、お墓に遺骨を埋蔵する葬儀の中の一儀式であるので、厳粛な業務の進行に努めた。

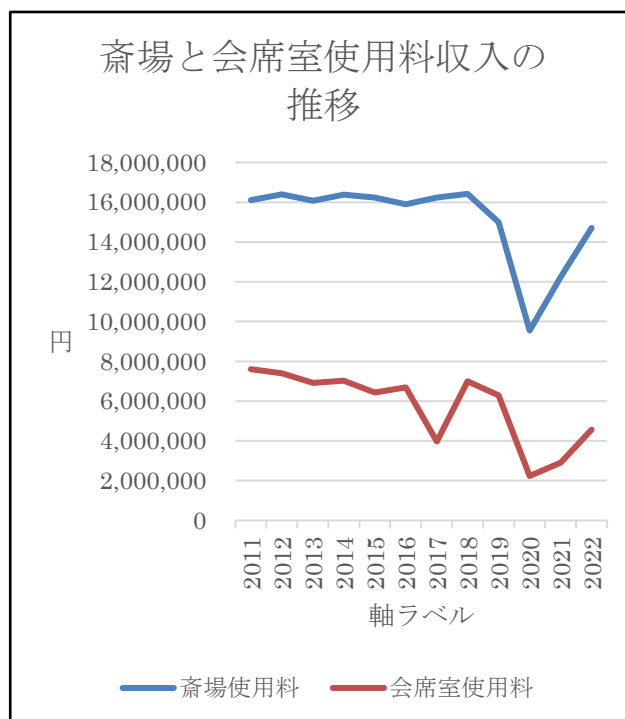
2022年度の納骨受入れ件数は、1,238件で前年度比112.4%であった。



(2)斎場、会席室の提供

2022年度の斎場使用料収入は、14,711,180円、会席室使用料収入は4,562,800円と、前年度に引き続き回復傾向にあるが、コロナ以前の状況までの回復には至っていない。

注) 2017年度会席室使用料の減少は、休憩棟の改修に伴って2017年10月30日から2018年3月30日まで会席室の使用を休止したことによるものである。

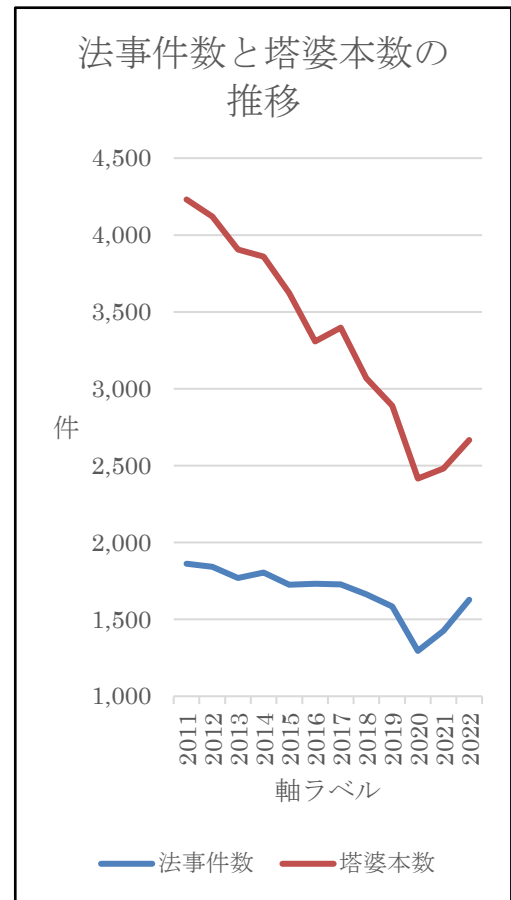


(3)法事、塔婆等の紹介

法事における利用者の利便に供するため、僧侶や神官の紹介、塔婆申込みの受付などを行った。

法事件数、塔婆本数ともに葬送に対する考え方の変化等に伴う減少傾向に加え、2020年度は、コロナ禍の影響で2019年度比で約18%落ち込んだが、2021年度若干回復し、2022年度は、法事件数 1,628 件、塔婆本数 2,667 本と、斎場、会席室同様、2021 年度に引き続き回復の兆しを見せている。

しかし、コロナ禍における感染症拡大防止のための自粛行動により、三密を避けたいという心理から、家族葬の増加や通夜を行わず告別式だけ、更には通夜、告別式ともに行わない直葬の増加など、葬儀形式が大きな変化をもたらしており、霊園経営においても課題となっている。



(4)墓石及び供花等の販売委託

墓石、供花(花・榊・しきみ)等の販売を指定墓石工事業者に委託した。

3 長期修繕・改修計画に基づく修繕等の推進

1964年の墓地造成後60年近く経過し、擁壁などの経年劣化が散見され、また、建築物の劣化や諸設備の不具合も危惧されることから、今後の50年を見据え、擁壁等の基盤の再整備や建築物の修繕や建て替えに備えて長期修繕・改修計画を2016年度に策定し、計画に沿って積み立てを行っている。

2022年度は、この計画での修繕、改修等は予定されていなかった。

なお、管理棟西側トイレの裏の空き地に納骨堂を建築すべく、基本設計等の事務を進めたところ、都市計画法上、当該地への建築は厳しいことが判明し、建築を断念した。

納骨堂については、既存の管理棟内倉庫を預骨室として活用することとし、新たに経営許可について保健福祉事務所と調整を鋭意進め、2023年7月には使用開始できる見込みとなっている。

Ⅲ 湘南森林霊園における事業報告

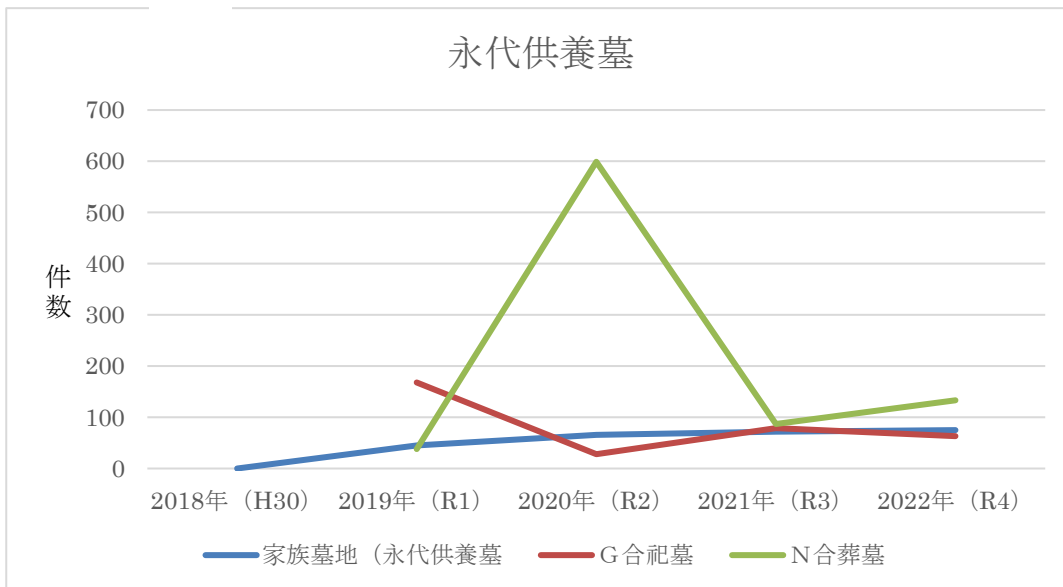
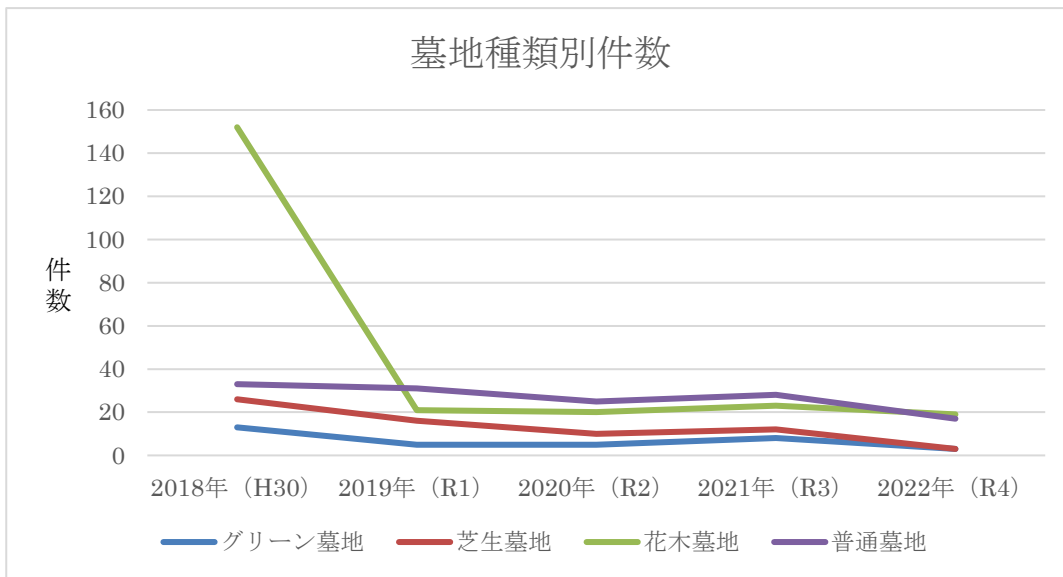
1 墓地提供事業

(1)墓地の種類、提供実績

2022年度は、湘南森林霊園の通年営業4年目で、実績は、提供面積138.00㎡、42区画であった。

また、墓地購入希望者からの需要が大きい「永代供養墓」について、合祀墓、合葬墓、家族墓地（2体用・4体用）に加えて、2020年度からは期限付き墳墓を整備し、多様な墓地の提供を推進している。

墓地の種類	2022年度実績		2021年度実績	
	提供面積	提供区画	提供面積	提供区画
普通墓地	41.00㎡	17区画	70.00㎡	28区画
芝生墓地	9.00㎡	3区画	36.00㎡	12区画
グリーン墓地	12.00㎡	3区画	32.00㎡	8区画
花木墓地	76.00㎡	19区画	92.00㎡	23区画
特別墓地	0.00㎡	0区画	0.00㎡	0区画
合計	138.00㎡	42区画	230.00㎡	71区画
合祀墓	—	63件	—	79件
合葬墓	—	133件	—	87件
家族墓地	225.00㎡	75区画	216.00㎡	72区画
期限付き	0.00㎡	0区画	0.00㎡	0区画



(2)霊園面積の概況 (2022年3月31日現在)

霊園全体面積	199,429.05㎡		
提供対象総墓地面積	62,600.60㎡(100.0%)	総区画数	14,905区画(100.0%)
提供済墓地面積	2,411.50㎡(3.9%)	提供済区画数	728区画(4.9%)
未提供墓地面積	60,189.10㎡(96.1%)	未提供区画数	14,177区画(95.1%)

※ 面積については、永代供養墓を除いた実測面積である。

2 2022年度の取組み

(1)委託業務の監督と督励

湘南メモリアルプロジェクト株式会社に委託した霊園の運營業務及び維持管理業務並びに霊園の各種サービス事業について、その執行体制に遺漏のないよう監督、督励を行った。

(2)知名度・認知度アップに向けた取組み

霊園開園から4年が経過し、これまでの広報活動で徐々に知名度が上がってきているが、より一層の知名度向上に向けて、新聞等の各種印刷メディアへの広告掲載、アクセス道路の一つである国道255号線への新規の看板設置、鉄道車内広告の実施、インターネット検索への対策強化などの広報宣伝活動について、媒体を適宜変更しつつ、引き続き取り組んだ。

知名度向上のための取組みの一つとして星空観察教室を開催し、霊園を訪れる機会を設けただけでなく、この教室の広報活動としてチラシを作成し、秦野市内の公民館11か所、児童館18か所、近隣のスーパーマーケット7か所に掲示することにより、霊園の知名度向上に努めた。

同様の趣旨で、令和5年5月から新たに写経教室を開催することとし、その広報活動として、上記星空観察教室と同様に、3月に公民館、近隣のスーパーマーケット等にチラシを掲示した。

さらに、地元秦野市観光協会に正会員として加盟し、上記行事開催に際しては、同協会HPにアップしてもらう他、協会事務所に霊園のチラシを配架している。

また、新たに秦野市社会福祉協議会の賛助会員となり、同会の事業との連携を図っているところであり、同協会が4年度に2回発行した終活情報誌に広告を掲載するなど地元の認知度向上を図っているところである。

(3)アクセス利便性の向上に向けた取組み

利用者アクセスの利便性向上を図るため、JR二宮駅、小田急線秦野駅と渋沢駅からのシャトルバスの運行を継続しており、広報宣伝と合わせて多面的な営業活動に取り組んだ。

(4)大手企業との販売契約に向けた取組み

従業員数、加入会社数の多い小田急グループ共済組合（2022年4月1日時点で、38,900名、76社）と2022年9月1日に割引契約を締結した。

IV 法人運営の状況

1 理事会・評議員会の開催状況

(1)理事会

開催年月日	提出議案	議事の結果
2022年 6月7日 第42回 現在数 4名 出席数 4名	第1号議案 令和3年度事業報告書について	原案のとおり承認
	第2号議案 令和3年度計算書類及びこれらの付属明細書並びに財産目録について	原案のとおり承認
	第3号議案 顧問の選任について	原案のとおり承認
	第4号議案 理事会運営規程の一部変更について	原案のとおり承認
	第5号議案 第28回評議員会の開催について	原案のとおり承認
2022年 6月23日 第43回 現在数 4名 出席数 4名	第1号議案 代表理事及び業務執行理事等の選定について	原案のとおり承認
	第2号議案 常勤役員の報酬月額について	原案のとおり承認
	第3号議案 就業規則の一部改正及び育児・介護休業等に関する規程の全部改正について	原案のとおり承認
2023年 2月8日 第44回 現在数 4名 出席数 4名	第1号議案 納骨堂の経営について	原案のとおり承認
	第2号議案 湘南森林霊園に係る諸規程の一部改正について	原案のとおり承認
	第3号議案 財団が役員等と結ぶ補償契約の内容について	原案のとおり承認
	第4号議案 役員等賠償責任保険契約の内容について	原案のとおり承認
	第5号議案 財団と役員等との補償契約の締結について	原案のとおり承認

開催年月日	提 出 議 案	議事の結果
	第6号議案 役員等賠償責任保険契約の締結について	原案のとおり承認
	第7号議案 理事候補者の推薦について	原案のとおり承認
	第8号議案 第29回評議員会の開催について	原案のとおり承認
2023年 3月9日 第45回 現在数 6名 出席数 6名	第1号議案 特定費用準備資金の積立計画について	原案のとおり承認
	第2号議案 令和5年度事業計画書(案)について	原案のとおり承認
	第3号議案 令和5年度収支予算書並びに資金調達及び設備投資に見込みを記載した書類(案)について	原案のとおり承認
	第4号議案 相模メモリアルパーク 預骨室使用規程の制定について	原案のとおり承認
	第5号議案 相模メモリアルパーク手数料徴収規程の一部改正について	原案のとおり承認
	第6号議案 財団と役員等との補償契約の締結について	原案のとおり承認
	第7号議案 評議員候補者の推薦について	原案のとおり承認
	第8号議案 第30回評議員会の開催について	原案のとおり承認

(2)評議員会

開催年月日	提出議案	議事の結果
2022年 6月23日 第28回 現在数 7名 出席数 6名	第1号議案 令和3年度事業報告書について	原案のとおり承認
	第2号議案 令和3年度計算書類及びこれらの付属明細書並びに財産目録について	原案のとおり承認
	第3号議案 役員（理事）の選任について	原案のとおり承認
2023年 2月22日 第29回 現在数 7名 出席数 7名	第1号議案 役員（理事）の選任について	原案のとおり承認
2023年3月 29日 第30回 現在数 7名 出席数 6名	第1号議案 令和5年度事業計画書について	原案のとおり承認
	第2号議案 令和5年度収支予算書並びに資金調達及び設備投資に見込みを記載した書類（案）について	原案のとおり承認

2 理事・監事・評議員・職員等に関する事項

(1)理事・監事名（2023年3月31日現在・順不同）

役 職	氏 名	勤 務
理 事 長	安 野 讓 次	常 勤
専務理事	安 西 保 行	常 勤
理 事	茅 野 英 一	常 勤
理 事	田 代 欣 久	非 常 勤
理 事	三 浦 修	非 常 勤
理 事	八 木 まり子	非 常 勤
監 事	長 沢 徹	非 常 勤
監 事	下 嶋 光 久	非 常 勤
理事 6名	監事 2名	

(2)評議員名（2023年3月31日現在・順不同）

役 職	氏 名	勤 務
評 議 員	西 島 紀 子	非 常 勤
評 議 員	長 田 喜 樹	非 常 勤
評 議 員	鈴 木 順	非 常 勤
評 議 員	公 平 一 宏	非 常 勤
評 議 員	熊 坂 直 美	非 常 勤
評 議 員	小 暮 貴 子	非 常 勤
評 議 員	隅河内 司	非 常 勤
評議員 7名		

(3)役員等協議会委員名（2023年3月31日現在・順不同）

役 職	氏 名	備 考
座 長	安 西 保 行	専務理事
委 員	田 代 欣 久	理 事
委 員	茅 野 英一	理 事
委 員	下 嶋 光 久	監 事
委 員	西 島 紀 子	評 議 員
委 員	鈴 木 順	評 議 員
委員 6名		

(4)職員 (2023 年 3 月 31 日現在・順不同)

職 名	人 数
執行理事 (理事長、専務理事)	2
(臨) 参 与	1
事 務 局	
(臨) 事務局長・墓地管理者	(参与兼任)
管理部長	1
管理部	1
業務担当課長	1
業務部	4
再雇用	1
臨 時	2
パートタイム職員	21 (受付4、清掃3、屋外作業14)
愛 川	
執行理事	2名
常勤職員	11名
非常勤職員	21名 (パートタイム職員)
湘南森林霊園	
理事 (兼) 管理事務所長・墓地管理者	1
合 計	
執行理事	2名
常勤職員	11名
非常勤職員	21名 (パートタイム職員)